

～臨床情報の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腹会陰式直腸切断術および骨盤内臓器全摘術後の骨盤死腔炎の危険因子の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器外科 職位・氏名 講師・金子 奉暁

【情報の利用目的】

取得した情報は、腹会陰式直腸切断術および骨盤内臓器全摘術の術後に発生する骨盤死腔炎の危険因子を検討することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、腹会陰式直腸切断術を受けられる患者さんの骨盤死腔炎防止対策の確立につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる情報】

情報:手術対象疾患の情報(状態、術前治療の有無)、既往歴、手術情報、骨盤死腔炎、創感染を含む術後合併症の発生状況

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年9月より利用を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【情報の取得方法】

対象者:2004年12月～2025年8月までに東邦大学医療センター大森病院

一般・消化器外科において、腹会陰式直腸切断術(骨盤内臓器全摘術)を受けた方

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 研究代表者:金子 奉暁 役職:講師

【利用する者の範囲】

本研究は、東邦大学医療センター大森病院のみで実施し、共同研究機関はありません。

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科 金子 奉暁

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年12

月 31 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器科

職位・氏名 講師 金子 奉暁

電話 03-3762-4151 内線 6530